

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和4年3月20日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		十分なスペースを確保しております。特にコロナ禍においては、三密を避け、机の配置や児童と職員間の適切な距離に配慮しております。	今後も療育スペースについては、工夫していくことで療育に集中できる環境づくりを目指してまいります。
	2	○		国の定めた基準以上の人員を満たし、利用児童に合わせた配置に努めています。	今後もサービスの質を確保できるよう職員配置の確認と、見直しを随時おこなってまいります。
	3	○		室内に段差は無く、バリアフリーで、児童が転びにくく異様工夫され、また児童の目から見て、わかりやすい構造となっています。	現時点では、当事業所に車椅子使用の児童はいませんが、今後、受け入れる場合、環境、対応について協議検討してまいります。
	4	○		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	今後も継続して、清潔な空間を保っていただけるよう努めてまいります。
業務改善	5	○		毎日の引き継ぎ時や、月二回のリフレクション会議にて振り返りや業務改善に努めています。	いつ、どの職員が対応しても同じ手順で安定した支援をおこなえるよう話し合っていきます。また会議録を作成し、いつでも見直しが出来るように努めてまいります。
	6	○		アンケート実施後、保護者様からいただいたご意見は速やかに全職員で共有し、業務改善に努めております。	今後も保護者様からいただいたご意見をもとに、より良い支援ができるように努めてまいります。
	7	○		COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトにて公開致します。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開をおこなってまいります。
	8	○		現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
適切な支援の提供	9	○		オンライン研修や事業所内研修などにて積極的に研修の機会を確保しております。	今後も、定期的に研修の機会を設け、職員の資質・能力の向上に努めてまいります。
	10	○		アセスメントを定期的実施し、保護者様のご意向や児童の状況を踏まえて児童発達支援計画を作成しています。	アセスメント、並びに担当者会議での情報共有を図り、より良い支援計画を作成出来るよう努めてまいります。
	11	○		法人で統一されたアセスメントシートを使用しております。	今後も適切にアセスメントをおこなうことにより、状況の把握へと努めてまいります。
	12	○		保護者様のご意向と児童発達ガイドラインから児童に必要な支援内容を選択し、具体的な支援計画を作成しています。	児童の状況によって児童発達支援ガイドラインに示された支援内容を選択しながら、保護者様のご意向も取り入れた計画を作成してまいります。また、担当者会議等で情報共有に努め、計画の見直しを図ってまいります。
	13	○		個別支援会議にて計画案の内容把握をおこない、計画に沿った支援となるよう努めています。	今後も支援計画に沿った支援がおこなわれるよう支援会議をおこない、より良い支援に努めてまいります。
	14	○		職員間で話し合いをおこない、活動内容を立案しています。	固定化しないような様々な活動プログラムを立案することで、児童が楽しく、意欲的に取り組めるよう職員間で話し合いをおこない、工夫を凝らしてまいります。
	15	○		一人ひとりの特性・興味に合う教材を使用し、プログラムが固定化されないよう工夫しています。	今後も固定化を避け、児童一人ひとりの発達段階に合わせた学習、学習を通じて学べるプログラム、季節に合わせた行事など、多彩なプログラムを実施していきたいと思っております。
	16	○		一人ひとりの特性に応じた目標を設定し、個別活動・集団活動を適宜組み合わせ、個別活動・集団活動を適宜組み合わせた支援計画を作成しております。	今後も個別活動・集団活動を組み合わせ、個々に合った支援計画を作成してまいります。
	17	○		業務内容についての共有、および、児童の支援内容について打ち合わせをおこなっています。	今後も継続して支援開始前の情報共有と確認を継続してまいります。
	18	○		家庭連携や支援内容を周知しております。	より良い支援のため、今度も引き続きは確実におこなってまいります。
	19	○		毎日個別経過記録をとっています。記録は支援の検証・改善につなげています。	今後も細やかな記録の記載を徹底し、より良い支援がおこなえるよう努めてまいります。
	20	○		定期的にモニタリングをおこない、児童の状況、保護者様のご意向に沿った計画を作成出来るよう、見直しをおこなっています。	必要に応じて期間を問わずモニタリングを実施し、計画の見直しの必要性を検討してまいります。
関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	各関係機関との連携は重要ですので、児童発達支援管理責任者が参加していくことで児童の状況を共有出来るよう努めてまいります。
	22	○		関係機関と積極的に情報共有・相談をおこない、連携した支援ができるよう努めております。	今後も更に地域との繋がりを大切にしながら連携を図ってまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		必要に応じて幼稚園・保育園へ電話連絡や訪問をおこない、情報共有に努め、より良い支援に繋がるように配慮しております。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	26	○		相談支援員を中心とした引き継ぎをおこない、支援内容について情報共有、相互理解を図っております。	今後も関係機関と支援内容の情報共有をおこない、児童が移行先で有意義な生活が送れるよう、相互理解を図ってまいります。
	27	○		専門機関との連携に努め、担当者会議に参加し、助言を受けています。	今後も会議には積極的に参加し、助言をいただくことでより良い支援に繋げてまいります。
	28	○		コロナ禍のため、これまでは事業所での交流機会はありませんでした。	通所を公にしたくない保護者様もおられるため、コロナ収束後にはご意見を伺いながら、検討してまいります。
	29	○		今年度はコロナの影響で参加機会は作れませんでした。	コロナ収束後には、自立支援協議会の部会員として参加し、意見等を出し合い、地域活動をおこなっていきます。
	30	○		連絡帳にて様子を伝え、保護者様とも定期的に情報共有ができるよう努めております。	今後も保護者様と事業所間で、細かな情報も伝え合いながら共理解を図ってまいります。
	31	○		家庭連携の機会に子育てのお悩みやお困りごとのアドバイスをさせていただきます。	今後も保護者様からのお悩み事やお困りごとの際には、丁寧な対応を心がけてまいります。
	32	○		契約時には丁寧にご説明させていただいています。また内容に変更などあった際にも、改めて丁寧な説明を心がけています。	今後も保護者様に分かりやすい説明を心掛けていきます。またご要望があれば定期的なモニタリングの際いつでもご説明させていただきます。
保護者への説明責任等	33	○		児童発達支援ガイドラインに基づき保護者様のご意向や児童の特性を踏まえて計画を作成し、同意を得ています。	児童発達支援ガイドラインのねらいに児童発達支援ガイドラインの特性に応じた計画を作成し、計画を示しながら、丁寧な説明をおこなってまいります。
	34	○		連絡帳や送迎の際にご相談をお受けしたり、ご希望に応じて事業所での相談の場を設け、丁寧にお聞きし、助言等に努めています。	今後も、保護者様からご相談があった場合には、情報収集や職員間の共有をおこない、早急に対応できるよう努めてまいります。
	35	○		今年度はコロナ禍のため、実施出来ておりません。	コロナ収束後に、保護者様のご意向をまとめ、開催の計画を立案してまいります。
	36	○		苦情受付窓口と苦情解決のそれぞれの担当を契約書に明記しています。また実際に苦情を受けた場合、その内容を職員間で共有し、問題解決に向けた迅速な対応が出来るよう心がけております。	今後も快適にご利用いただけるように普段からの取り組みをしっかりとおこなうと同時に、お申し入れをいただいた場合には、問題解決に向け迅速に対応させていただきます。
	37	○		季節ごとの「COMPASS だより」や毎月のごもカレンダーを発行、公式 Web サイトでブログを定期的に更新し、事業所内や活動の様子を発信しております。	今後も継続して、公式 Web サイト、ごもカレンダー、SNS、YouTube で療育の様子を発信してまいります。
	38	○		鍵付きのキャビネットでの書類の保管・管理をおこなっています。また使用済み書類の破棄についてはシュレッダーを使用しています。	今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
	39	○		児童には特性に合わせた支援方法で、情報伝達をおこなっています。保護者様に説明をする際には、専門用語は避け、分かりやすく伝えられるよう心がけています。	スケジュール表・絵カードなどで視覚的なアプローチを試みるなど児童一人ひとりの特性を把握し、保護者様にも状況に応じた情報伝達・意思疎通に努めてまいります。
	40	○		現在までは、地域住民をご招待する等の企画運営の機会はありませんでした。	今後の検討課題とし、どのように企画していくか模索してまいります。
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルについては、利用契約時にお伝えしております。職員間でも共有できるよう定期的に確認しています。	いざという時にしっかりと対応ができるよう、お知らせも継続して保護者様へ掲示、おこなってまいります。また職員への周知をおこなってまいります。
	42	○		非常災害の発生に備え、火災、地震、風水害、不審者対応などの避難訓練を実施しております。	避難訓練は、繰り返し取り組むことが大切ですので、今後も年間計画を立て取り組んでまいります。
	43	○		アセスメント時に、服薬やてんかん発作など、児童の状況を確認しています。	今後も児童の状況把握に努めてまいります。
	44	○		アレルギーについては初回アセスメントの際に保護者様から聞き取り、全職員への周知・情報共有を徹底し、医師の指示書がある場合は、指示書に基づいた対応に努めています。	職員は、定期的な更新に努め、児童への周知を徹底し、食物の提供をおこなう場合には細心の注意を払ってまいります。
	45	○		ヒヤリハットが発生した場合には、報告書を作成し、勉強会を設け情報共有に努めています。	引き続き事例を情報共有し、全職員で意識して、再発防止や、児童が安全に過ごせるように努めてまいります。
	46	○		虐待防止の研修を実施し、虐待防止について周知しています。	今後も事業所内での研修を継続し、職員の意識向上に努めてまいります。
	47	○		原則として契約書で禁止になっておりますが、やむを得ず必要な場合には、保護者様に十分な説明うえ、承諾を得て支援計画に記載するようになっています。	今後も、原則として身体拘束はおこなわない基本姿勢を守りながら、やむを得ず必要な場合には、あらかじめ保護者様と同意を得て、支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。